



このチラシは2019年度日本郵便の年賀寄付金の
助成を受けて製作しました。

年賀はがきで贈る真心と未来

～視覚や聴覚に障害のある人が文化施設に
安心して来られるための～

アクセシビリティ

研修



『視覚』に障害のある方への対応編

日程:2019年6月30日(日)



『聴覚』に障害のある方への対応編

日程:2019年7月13日(土)

いま、アクセシビリティ

＜より多くの人を受け入れる環境作り＞を考える。

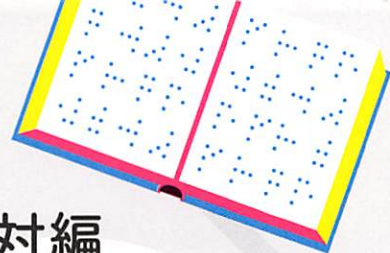
文化施設は「鑑賞の場」のみならず、あらゆる市民が「参加する場」へと広がりを見せています。あらゆる市民が交わることで、新たな“つながり”“きずな”が構築され、相互理解が育まれる可能性にあふれた場所です。あらゆる人々の社会参加の機会をひらく文化施設において、障害のある人もない人も安心して訪れることができる環境作りは、文化芸術の社会的価値そのものではないでしょうか。

世の中の動きとしては、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の施行、県内においては、「福井県共生社会条例」「福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例」の施行と変化が起きています。この機会に、文化施設からアクセシビリティについて考え始めませんか？

【主催】NPO法人 福井芸術・文化フォーラム

【協力】羽二重ねっと、福井県ろうあ協会、NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク、福井市立郷土歴史博物館

【後援】福井市、福井市教育委員会、(福)福井県社会福祉協議会、(福)福井市社会福祉協議会、(公財)福井県文化振興事業団、福井新聞社



『視覚』に障害のある方への対応編

日時 ■ **2019年6月30日(日)**

10:00 ~ 15:30

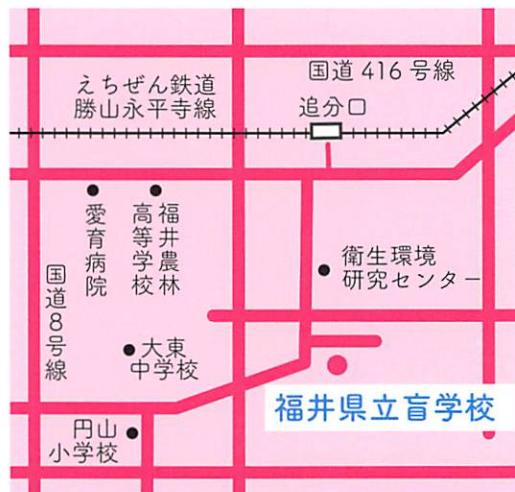
会場 ■ 福井県立盲学校

講師 ■ 岡島喜謙
(福井県立盲学校教諭・羽二重ねっと)

■ 青山直人 (歩行訓練士・光道園・羽二重ねっと)

■ 森下幹也 (歩行訓練士・光道園・羽二重ねっと)

会場〈福井県立盲学校〉 福井市原目町39-8



講師プロフィール

岡島 喜謙 (おかじまよしのり)

福井県立盲学校教諭。13歳の時に「スティーヴンス・ジョンソン症候群」を発症。疾患により視覚に障害が残る。現在は左目が視力0.04見える程度。大学を卒業し約10年間一般企業にて勤務した後、盲学校にて鍼灸マッサージの国家資格を取得。その後教員免許も取得し現在に至る。福井県視覚障がい者支援ネットワーク「羽二重ねっと」事務局長、視覚障害リハビリテーション協会理事。

1994年、同志社大学工学部電子工学科卒業。
2004年 福井県立盲学校専攻科理療科入学。
2007年 筑波大学理療科教員養成施設入学。
2009年 福井県立盲学校理療科教諭～現職。



青山直人

(あおやまなおと)

歩行訓練士・光道園
・羽二重ねっと



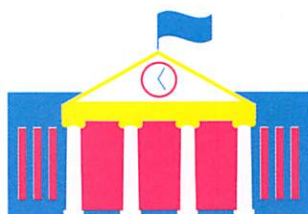
森下幹也

(もりしたみきや)

歩行訓練士・光道園
・羽二重ねっと



共通要項



一日の流れ

受付	(9:30~)	↓
レクチャー	(10:00 ~ 12:00)	↓
休憩	(12:00 ~ 13:00)	↓
ロールプレイ	(13:00 ~ 14:30)	↓
振返り	(14:30 ~ 15:30)	



『聴覚』に障害のある方への対応編

日時 ■ 2019年7月13日(土)

10:00 ~ 15:30

会場 ■ 福井市民福祉会館 4F
ボランティアルーム
(フェニックス・プラザ内)

講師 ■ 廣川麻子
(シアター・アクセシビリティ・ネットワーク理事長)

会場 〈福井市民福祉会館〉福井市田原1-13-6



講師プロフィール

廣川 麻子 (ひろかわあさこ)

1994年日本ろう者劇団入団。1995年和光大学卒業。2009年9月から1年間ダスキン障害者リーダー育成海外派遣事業第29期生として英国Graeae Theatre Companyにて研修。2012年12月観劇支援団体シアター・アクセシビリティ・ネットワーク設立。平成27年度(第66回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(シンポジウム「より良い観劇システムの構築に向けて、今できること」ほかの活動)。2016年12月第14回読売福祉文化賞(一般部門)をTA-netとして受賞。「NHKろうを生きる難聴を生きる」沖縄県「アーツマネジメント講座 2017」など全国各地で啓発活動を展開。文化庁文化審議会第15期(2017年度)文化政策部会舞台芸術ワーキンググループ専門委員。



Accessibility



定員 各20名 (先着順) 参加費 無料

申込み開始日 5月30日(木)

対象 福井県内の文化施設に勤務する職員や施設のボランティアスタッフ、アクセシビリティに興味のある方。

内容 レクチャー／視覚障害のある方、聴覚障害のある方を講師に招き、それぞれの障害と日常生活でのバリアを知ること、どのような鑑賞サポートができるのかを考えます。ロールプレイ／博物館という設定で、視覚や聴覚に障害のある人が来場される場合のシミュレーションを行います。

申込用紙

FAX 

0776-23-7905

ふりがな	
名 前	
所属	
〒 住所	
電話番号	E-mail(携帯・PC)
希望 プログラムに チェックしてください。 ☐ 6月30日(日)『視覚』に障害のある方への応対編 のみ ☐ 7月13日(土)『聴覚』に障害のある方への応対編 のみ ☐ 両日とも参加	
参加動機	
その他、講師に聞いてみたいこと等自由にお書きください。	

※いただいた個人情報はイベント管理受付に必要とし、それ以外には利用いたしません。

申込 方法

- 締切:5月30日(木)より受け付け、定員になり次第締め切ります。
- 申込:下記申込用紙に必要事項を記入の上、郵送・FAX・メールgeibun@geibun.infoまたは
FAX(0776-23-7905)のいずれかの方法でお申し込みください。申込用紙は、福井芸術・文化
フォーラムホームページからもダウンロードできます。
- お申込みいただいてから2~3日以内に参加の可否をメールにてご連絡いたします。
geibun@geibun.infoからのメールを受信できるよう設定をお願いします。
※小文字のl(エル)と数字の1、o(オー)と数字の0など、わかりやすく明記してください。

【主催・お申込み・お問合せ】



NPO法人 福井芸術・文化フォーラム

910-0019 福井市春山 2-7-1 福井市文化会館内

☎ 0776-23-6905(月~金 10:00 ~ 18:00 土日祝日休み)

✉ geibun@geibun.info  <https://geibun.info/>

福井芸術・文化フォーラム

検索

 0776-23-7905



アクセシビリティ研修

～視覚や聴覚に障害のある人が文化施設に安心して来られるための～

いま、アクセシビリティ＜より多くの人を受け入れる環境作り＞を考える。

文化施設は「鑑賞の場」のみならず、あらゆる市民が「参加する場」へと広がりを見せています。あらゆる市民が交わることで、新たな“つながり”“きずな”が構築され、相互理解が育まれる可能性にあふれた場所です。あらゆる人々の社会参加の機会をひらく文化施設において、障害のある人もない人も安心して訪れることができる環境作りは、文化芸術の社会的価値そのものではないでしょうか。

世の中の動きとしては、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の施行、県内においては、「福井県共生社会条例」「福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例」の施行と変化が起きています。この機会に、文化施設からアクセシビリティについて考え始めませんか？

＜視覚に障害のある方への対応編＞

日時 ■ 2019年 6月 30日（日） 会場 ■ 福井県立盲学校
10:00～15:30

講師 ■ 岡島喜謙（福井県立盲学校教諭・羽二重ねっと）
■ 青山直人（歩行訓練士・光道園・羽二重ねっと）
■ 森下幹也（歩行訓練士・光道園・羽二重ねっと）



一日の流れ ■ 受付 → レクチャー → 休憩 → ロールプレイ → 振返り
(9:30) (10:00～12:00) (12:00～13:00) (13:00～14:30) (14:30～15:30)

定員 各20名（先着順） 参加費 無料 申込み開始日 5月30日（木）

対象 福井県内の文化施設に勤務する職員や施設のボランティアスタッフ、アクセシビリティに興味のある方

内容 視覚障害のある方、聴覚障害のある方を講師に招き、それぞれの障害と日常生活でのバリアを知ることで、どのような鑑賞サポートができるのかを考える。ロールプレイでは、博物館という設定で、視覚や聴覚に障害のある人が来場される場合のシミュレーションを行う。

〈会場：福井県立盲学校〉
福井市原目町39-8



【主催・お申込み・お問合せ】
NPO法人 福井芸術・文化フォーラム
910-0019
福井市春山 2-7-1 福井市文化会館内
Tel : 0776-23-6905（平日 10:00～18:00）



このチラシは 2019 年度日本郵便の年賀寄付金の
助成を受けて製作しました